

返々やかて
可参候、とひさる
斗、はやく
あひ申度候、
かしく、

さるきニ入候よし
にて、ふみまん
そく申候、せつ
かくひさう候て
むかいニ出候とき
御連候て出ら連
候べく候、

一、さるのな王むさく候
間、此くれな井
徒かわし候、つけ
候者、さるおとこ
ぶりあかり
可申候、

一、さるをひたいなと
ぬき間しく候、
そがうなとそり
候事、無用候、

一、こせうの事、
御心得申候、やかて
徒かわし候べく候、
我々事、はや

一、こしらへ申候間、
やかてこし候て
あひ可申候、
用の事候者、
此返事ニ可承候、

かしく、

兵太

十月廿二日 忠政（花押）

万千代殿

まゐる

【翻刻作成】豊岡市立歴史博物館